

佐比内ため池流域の水田水温と気温・日照時間の関係（１９９５年）

早期警戒情報においては、気温・日照時間・降水量が冷害危険度地帯別に過去７日間の移動平均で示されています。これらのデータと水田水温（午前９時測定）との関係を整理してみました。佐比内ため池流域にもっとも近い監視地点アメダス遠野を使用しました。

１９９５年度は水温測定が日単位で測定されたため、過去７日間の移動平均を用いて関係を図示することにします。

１）日最高気温と水田水温の関係（図１参照）

- ・最高気温が２５度を超えたのは７月７日で、幼穂形成期より早い時期にあたる。
- ・水田水温は全期間を通して、最高気温より低く経過した。

水温（度）・日照時間

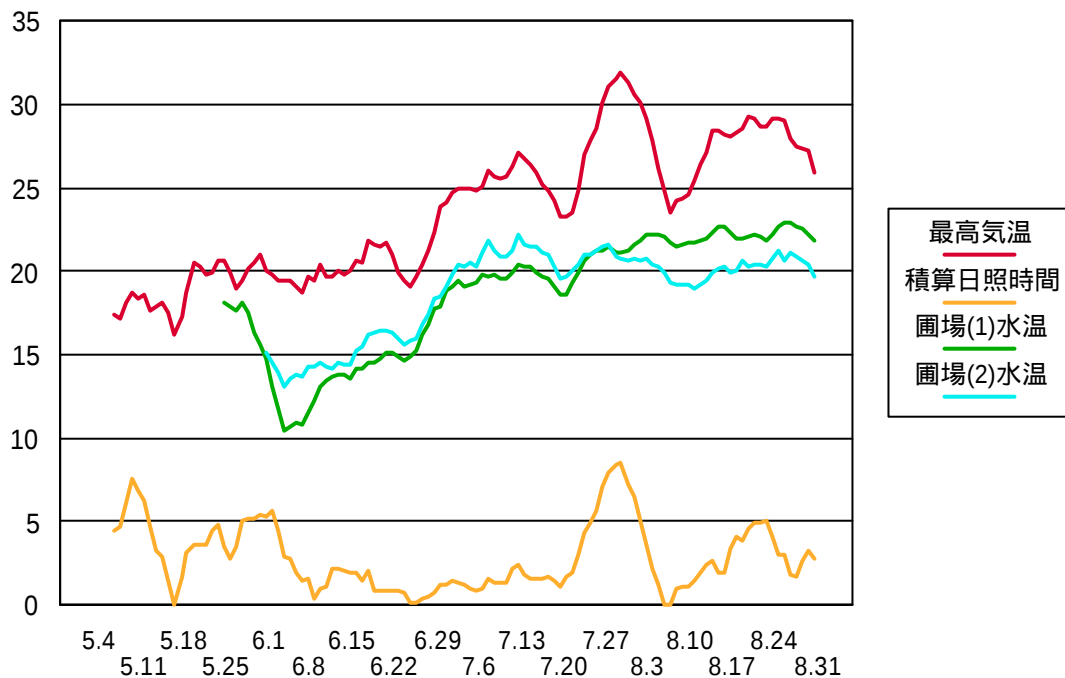


図１ アメダス遠野の最高気温と水田水温（午前９時）の推移
１９９５年度
過去７日間の移動平均

２）日最低気温と水田水温の関係（図２参照）

- ・最低気温が１７度を超えたのは７月３日で、幼穂形成期より早い時期にあたる。
- ・水田水温は全期間を通して最低気温より高く、５，６月の生育初期においてその差が大きい傾向がみられた。

水温（度）・日照時間

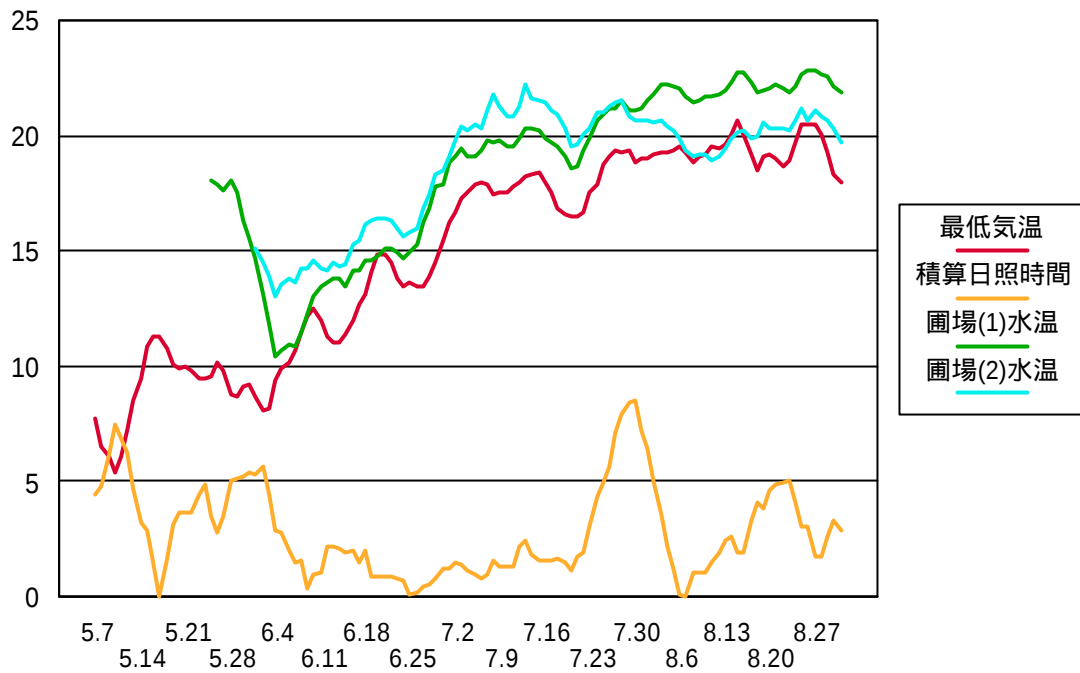


図2 アメダス遠野の最低気温と水田水温 (午前 9時)の推移
1995年度
過去 7日間の移動平均

3) 日平均気温と水田水温の関係 (図 3 参照)

・ 平均気温が 20 度を超えたのは 7 月 3 日で、 幼穂形成期より早い時期にあたる。

水温（度）・日照時間

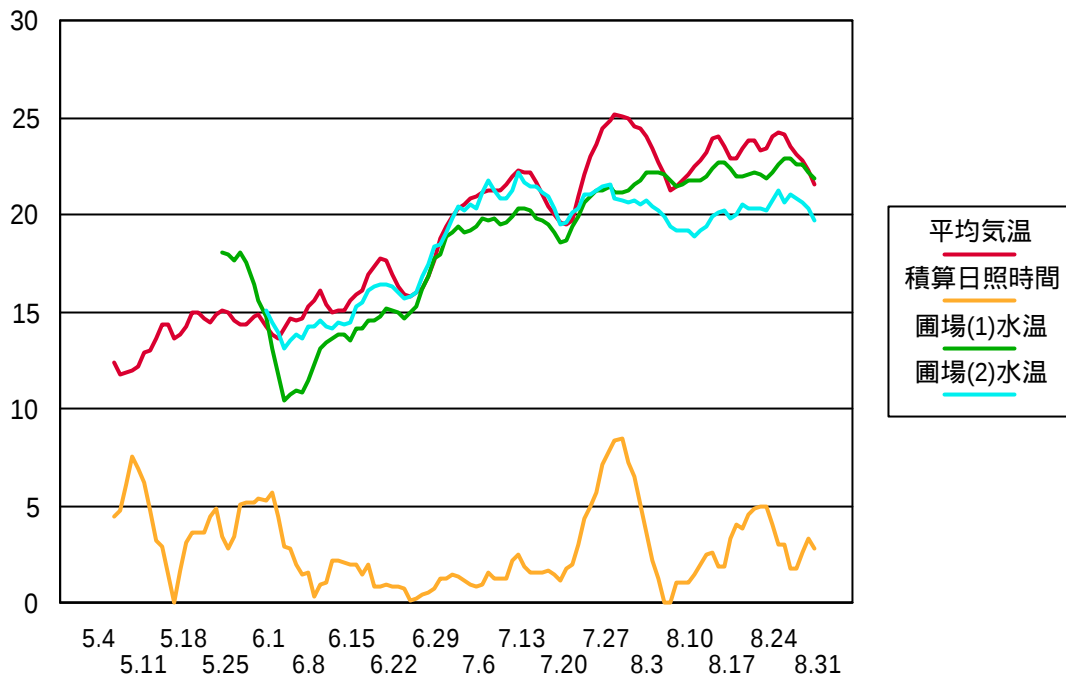


図3 アメダス遠野の平均気温と水田水温(午前9時)の推移
1995年度
過去7日間の移動平均